

令和6年度「高森町町民主体のまちづくり活動支援事業」採択団体一覧

種類	区分	NO	団体名	代表者名	事業名	事業のスケジュール	今後の展開	令和5年度の内容及び成果	構成人数	交付金要望額		重点 事業	継続 年数	審査 結果
									単価	活動支援金	継続支援金			
みんな で協働型	一次	1	おもちゃの修理屋さん	渡辺 正一	おもちゃの修理屋さん	・毎月第2～4土曜日に飯田会場（子どもの森）2回 ・第3土曜日は高森会場（あったかてらす）にて実施 又、年に数回子どもの森祭に実施している。 ※令和5年は「あったかてらす」5周年記念にて5月5日に追加実施	会社08にて実施しているも、高齢化が進む中で新規入会者確保に苦慮しているのが現状であり、少しでも長く事業を継続していきたい。	思い出の動かなくなった、おもちゃ全般の修理を実施。一年間で約150件の修理を実施。治った時のお子さんの笑顔が最高です。	12	113,000			7	適正
									2,000	89,000	24,000			
みんな で協働型	一次	2	あじさいの会	宮島 たみえ	地域コミュニティ支援事業	年2回の総会を持ち、実施内容の検討反省をしながら事業を進める。 ・やすらぎ荘のお手伝い 年間分担表を配布し実施する ・高齢者世帯への支援（ゴミ出し、認知症サポート、安心カード他 ・4月より花畑の手入れ（育苗・植え付け・管理等） ・吉1サロンは年3回（7、11、3月）実施協力 ・その他の事業 その都度計画し実施していく	ボランティア活動を通して、賛同する仲間を増やし今まで続けてきた活動を長く継続していきたい。	コロナ禍の中であるが少しずつ人との交流が出来てきたのかと思う。すべてマスクを外しての活動とはいかないが元の活動に戻りつつある。当初計画したやすらぎ荘へのお手伝いや吉一サロンへの関わり等、活動の柱であったボランティアはできなかった。 更に、炊き出し訓練等も、皆が集まってやる活動は控えるしかなかった。そんな中、自分たちでできる活動やボラセンの助言などで、新しい活動を見つけて取り組んだ。 やすらぎ荘では昨年に続いてシーツ交換のお手伝いをした。利用者さんがコロナになって少し心配をしたが、大ごとにならず1年やり通すことが出来た。また、折り鶴つなぎや布切り作業は作業場所を変更してやることが出来た。花畑の管理は一年を通してきれいに管理でき道行く人に喜んでもらえた。自分たちが動くことで、地域へどう関わればよいのか話し合う機会もできよりよい生活を考えることもできた。今後、高齢化が進みさらに独立世帯が増えて地域が孤立化しつつある。いまこそどうすればより良い地域になるのかを問いつつ、周りのみんなと助け合い励ましあえる地域づくりを考えていきたいと思う。	25	134,000			6	適正
									2,000	84,000	50,000			
みんな で協働型	一次	3	力行会地域づくり隊	青木 恵裕	地域の環境保全推進事業	左記①～⑤について、稔4回程度地域内の点検・春愁の定期作業を行う。 必要に応じて、地域内で提起された課題に取り組む。	若年層の参加を促し、出来る限り長く継続していきたい。	内容 ・下市田三区、宮の北常会側に位置する山道の整備及び山道周辺に繁茂する竹林を伐採し、伐採地へ広葉樹を植林し、周辺の景観を良くする。 成果 ・6月、10月に山道周辺の竹伐採及び草刈作業を実施し、更に昨年植林した箇所 の草刈作業を年間6回実施し、周辺の景観が保たれた。 ・2月、3月に山道周辺の竹林を伐採し、段丘戦隊ビルンジャーの応援もいただき、町の粉砕機により伐採した竹を大量に粉砕し、山道を地域の皆さんが利用可能な遊歩道にする計画を進めることができた。	22	106,000			1	適正
									2,000	62,000	44,000			
みんな で協働型	一次	4	パノラマガーデン倶楽部	本島 恭世	アグリ交流センターの花壇の 花の育成・管理	・初夏：宿根草苗 夏の花の植栽と手入れ ・秋：宿根草苗 球根の植栽と手入れ ・随時：除草、消毒、草刈り（5月 6月 7月 8月） ・12月：バラ剪定講習会 ・通年：当番制による水やり	・芝生広場を活用する団体、個人と連携をし、イベント等を開催するときには協力体制を構築していきたい。 ・観光客にも地元にも愛される場所になるよう、利用者の声や専門家のアドバイスを 得ながら、よりよい空間づくりを進めていく。	主な事業の内容はあくぐ交流センター花に季節の花を植え、花壇周辺草刈りと庭管理をすること。この一年は外部専門家を迎え、花の勉強会を実施し、技術向上と知識共有の場を持つことができた。 バラ満開時はカフェいるもんで来店のお客様にも大変好評だった。 花壇からは雄大な南アルプスと高森町が一望できる。四季折々の花が咲く花壇からの眺めを多くの方が集い、楽しんでいる様子がみれた。 そして、パノラマガーデン倶楽部は一年の作業を通じ、構成員達のよい交流の機会を与えられた。	15	130,000			2	適正
									2,000	100,000	30,000			
みんな で協働型	一次	5	牛牧そば愛好会	木村 重臣	牛牧そば愛好会の備品整備	7月～10月 そば栽培 11月 まちのまるごと収穫祭 12月 牛牧神社二年参り者へ年越しそば振舞い 2月 牛牧公民館のそば打ち体験教室の実施	1. 地区内にそばの普及拡大を行うとともに 来客面向上を図る 2. 牛牧地区内の道休農地の利用活用を行う 3. そば打ち体験教室等を行い愛好者の拡大を図る	今年度からの事業。	15	129,000			1	適正
									2,000	99,000	30,000			

みんなで協働型	一次	6	高森キッズサイエンスクラブ支援会	手塚 恒人	天竜川の河原に現れた小川周辺の豊かな自然を満喫しよう！	4月13日（土）天竜川河川敷でコゴミの採集と簡単な料理、試食。 4月27日（土）天竜川河川敷のエノキの葉につくチョウの幼虫（ゴマダラチョウ、テングチョウ、ヒオドンチョウなど）探し、ヨモギ取り。 7月13日（土）天竜川河川敷周辺で昆虫採集、砂鉄集め。きれいな石探し。造形遊び。 8月3日（土）天竜川の河原内の小川で魚探し。安全第一に考え、活動範囲を縄で囲います。 9月28日（土）天竜川河川敷でクルミ拾い。五平餅作り用に保存。その後、高森町産大豆で豆腐づくり。 10月12日（土）クルミ味噌を作って、五平餅作り。試食。 10月13日（日）天竜川の流木で来年の干支「巳（み）」作り。（高森町ふるさとまるごと収穫祭で展示） 1月11日（土）小正月に合わせて4月27日に採集し、冷凍保存したヨモギを使って草もちつき。 3月1日（土）天竜川河川敷の木を切り出してヒラタケ菌の植菌。うまくいけば秋にはキノコが発生。	子どもたちは、天竜川とその河川敷は自由に探索できることから天竜川に興味を持ってきたが、先人たちが大切にしてきた貴重な資源の宝庫であるという認識には、まだ至っていない。継続的な長い実践が必要である。	◎内容 4月15日（土）コゴミ採集と料理 雨で中止 5月20日（土） 旬採集と料理、ヨモギ採りと冷凍保存 7月29日（土） 河川敷周辺でハチや蛇に注意しながら昆虫観察採集、ほかの生物の観察 雨で中止 8月4日（土）魚探し、水棲昆虫の観察 9月29日（土）クルミ拾い 10月14日（土）時の駅で、竹で来年の干支「辰」作り 10月15日（日）竹串やけの輪を作って五平餅づくり 1月13日（土）冷凍したヨモギを使って本格的なもちつきと試食 3月2日（土）天竜川の柳の木ほかを使ったヒラタケ菌打ち込み（秋にはヒラタケが発生） ◎活動の成果 子供たちは、活動フィールドから東方の橋げたの工事を観察したりニセアカシア・クルミ・ヤナギなどの木々に巻かれた伐採の目印用テープを見たりして、こちらへ工事が移ってくることを実感する。イベントの実施日が雨で中止となったリニア工事の危険回避のため実施場所を変更したりするということがあったので、高森キッズサイエンスクラブの会員がそろって見学したのは2回だけであるが、子供たちや保護者は、広範囲に使報した天竜川の河川敷を見て、親子や友達同士で「工事で竹数がなくなってしまってますみしい。もう、来年はタケノコが採れないね。」「別の場所で役に立ついろいろなものを探してみたい。」「この後、天竜川はどうなっていくのだろう。」「工事の続きを完成するまで見ていきたい。」などと複雑な胸の内を話合っていた。旬の味噌汁作り、ヨモギの灰汁抜きと冷凍保存、五平餅づくり、ヨモギ餅つき、あんこ餅・きなこ餅作りなどは、もう、夢中で、分担を決めていないのに、自ら参加し、先輩である自然愛護会の会員の支持をよく聞いて、体験を楽しんでいた。イベント終了時に書く絵日記は、取り組んだ様子、風景、友達との関わり、感想など豊かな表現が多かった。子供たちも保護者も来年もこの活動を続けてほしいと口々に言っていた。	12	224,000		○	5	適正
	2,000	200,000	24,000											
みんなで協働型	一次	7	チビッコ花広場愛護良会	福島 講造	チビッコ花広場愛護事業	・春～夏 苗植え ・夏～秋 サツキ等の剪定 ・年間を通して除草、ゴミ拾い、水やり	・CATVやSNS等を通じて活動を紹介し、ボランティアに取り組む人を作りたい。球根を増やしていき、苗費用をかけずとも自走できる形を作っていく。	1) チビッコ花広場と大島川花壇の春と秋に花苗植え及び雑草駆除。年間を通じ、何か花が咲かせる事ができた。 2) 0歳の幼児から砂場、大石で楽しく遊び、保育園児も来園し、保育の時間があがり、大石登りでは幼児の成長・発達がみられた。 3) 地域住民及び通行される人々にボランティアをすることの意義が少し伝えることができた。	19	138,000			5	適正
	2000	100,000	38,000											
みんなで協働型	一次	8	あかりを灯す会	木下 富由	竹灯明製作と各種イベントで点灯事業	8月：市田灯籠流し参加（10月：まるごと収穫祭で夜のライトアップがあれば参加） 12月：竹伐採と加工、萩山神社2年参り参道で点灯 4月：南小学校桜のキャンドルナイト参加	・創作作業やイベント参加で、新たに仲間作りをして活動を広げる。 ・町の新たな観光に寄与する。	（ア）地区、町の行事などで竹灯明の点灯 4月南小キャンドルナイト参加、7月大草鑑賞会、8月市田灯籠流し大煙火大会、10月飯田女子高校環境指導及び町まるごと収穫祭での展示協力、11月竹加工の親子教室開催（飯田市一色から神社総代5名も交流参加）、12月山神社2年参り等で1年を通じ実施できた。 （イ）小中学校からの要請による授業のサポート 小中学校からの要請が無く実施しなかったが、飯田女子高校1年生環境班から役場産業課を経ての要請で、延4日間の指導と町のまるごと収穫祭での展示発表の協力ができた。 （ウ）竹林整備のお手伝い（主に下市田区） 灯明用の竹取は、下市田区萩山神社北側の北沢文治氏所有地及び吉田区宮島明博氏所有の各竹林で実施したが、整備事業としては要請が無く今年度は実績無し。 （エ）整備した竹のチップ化と希望者への竹チップ配布（配達是有償） （ウ）の事業をしなかったので今年度は実績無し。	17	144,000			2	適正
	2000	100,000	44,000											
みんなで協働型	一次	9	千早原フラワーパートナーズ	中塚 広司	千早原地域の景観保全及び美化推進	・アグリ交流センター周辺の草刈りを年3回実施する。 ・「大待宵草」観賞会及びコンサートを7月に実施。 ・「水仙」、「大待宵草」を11月に植える。 ・その他花の苗の定植を適宜行う。	千早原アグリ交流センター周辺の景観がより素晴らしいものとなる。 他の団体とコラボしてイベントを開催することによりこの地を訪れる人々を増やす。 千早原の関係者と訪れた人々との交流が生まれ地域が活性化することにより農業の維持、発展に寄与する。	・上段道路からアグリ交流センターへの進入路土手の草刈り2回実施 ・アグリ交流センター周辺の美化推進 アグリ交流センター進入路脇へ「水仙」球根を120球植える 6年春に開花予定 アグリ交流センター駐車場周囲へ「大待宵草」120本 6年の6月から8月に開花予定 ・「シニアプロフィール」30本を植える春から秋にかけて開花 ・「大待宵鑑賞会」・コンサートを7月22日に実施 出演者を含み80余名が参加して盛大に実施 参加者には大変喜んでいただいた。コンサートは4団体が演奏 地元農家やパノラマビレッジが農産物などを販売 若者特命係の2名に進行などを協力してもらう 「大待宵草鑑賞会」では下市田「あかりの会」とコラボして竹筒灯を点燈 幻想的な空間を演出しました こちらも好評でした 大待宵草鑑賞会の様子は町のケーブルTVの通員便りで放映しました ・4月にお花見を実施、会員相互の親睦を図る	16	132,000			6	適正
	2000	100,000	32,000											

みんなで協働型	一次	10	おてこの会	倉沢 千穂子	子育て支援事業	毎月1回 四ヶ月乳児健診でスタイブプレゼントと広報活動。 毎月1回定例会。(第4火曜日) 食育セミナー託児 年4回 かきまるスマホ教室 年8回 (4/25 5/9 5/23 6/7) はじめてのバス旅(夏休み 春休み) かきまるスマホ教室 年8回 (4/25 5/9 5/23 6/7) はじめてのバス旅(夏休み 春休み) 毎月第2土曜日「かいじゅうの会」に参加。 (重点事業に該当する理由) 町中間教室「ばれっと」や保育園、小中学校での子どもたちの学習や見守りに直接かかわった活動が主となっています。また町の健康福祉課、総務課の規格での話も年間通してやっています。	・あったかてらす」を事務局としたファミリーサポート事業への協力会員、子どもの見守り。 ・南北小学校 ミシン学習、豆腐作り学習のボランティア。 ・中学校郷土料理「五平餅実習」 ・四ヶ月乳児健診での「スタイブプレゼント」とメッセージカードによる広報。 ・食育セミナー初めてのバス旅 かきまるスマホスクール託児 ・不登校親の会「かいじゅうの会」 ・相談マップ作成	21	221,000		○	3	適正	
						2000	179,000	42,000						
みんなで協働型	一次	11	大清水ほたる愛護会	高野 雅子	ほたる生育環境保全事業	・草刈りは、5月から11月にかけて、会員が各自で実施する。 ・ホタルの観察は、6月の1か月間、毎日実施する。 ・水路と池の整備作業を秋から冬に共同で実施し懇親会も行う。	・山欧区のホタル管理委員会や上平河原組合と連携し、カワニナの生育状況やホタルの発生状況について情報交換する。 ・ドン・キホーテの営業やサッカー場開設等により、地域が仮りに都市化されていっても、その環境の中でホタルが生息し、人間と共存できるような取組をめざしていきたい。	水路周辺の草刈り作業は、各自で刈り払い機などを使って年間3〜4回実施した。 6月は、1ヶ月間に渡って、大清水地域の清水が流れる斜面一帯とクラブハウスと終末処理場地域から変電所の下までのホタルの発生状況を観察し記録した。 ドンキが開店する令和2年6月から観察を開始した大清水地区は、幼虫を放流しているのにもかかわらず、蛍の発生数が大幅に減少した。これは、ドンキの照明の光が斜面を明るく照らしているためだと思われる。 ドンキが開業して以来の光害の実態が明らかになった。 7月の打ち合せ会では、こうした状況を会員で共有した。10月には、会員全員で池の泥揚げ作業を行った。 今年も、渾水を探取し水質調査を行ってもらった。今年初めて、微量の大腸菌が検出されたが、そのほかの異常は見当たらなかった。蛍の激減の原因は、水質によるものではない。 2月には、ホタル池の水漏れを防ぐ工事を業者に依頼した。来年度は、この池でカワニナを飼育し、ホタルの発生を促したいと考えている。	6	112,000		○	5	適正
						2000	100,000	12,000						
みんなで協働型	一次	12	下2笑顔を増やそうプロジェクト	松島 健治	下2笑顔を増やそうプロジェクト	令和6年11月23日(土)にコンサートステージを開催する。	音楽、演劇などに秀でた方たちを招聘し、その方たちのステージからパワーをいただき、心に栄養を表情に笑顔を持てるような体験をする。	今年度からの事業。	8	116,000		○	1	適正
						2000	100,000	16,000						
みんなで協働型	一次	13	高森町商工会名物料理研究所	米山 賢二	高森町のご当地グルメを福祉と中学生へ	R6 10月吉日 高森荘調理場 R7 3月吉日 高森中学校 3年生 高森町給食センター 「高森町商工会名物料理研究委員会」のメンバーがアルブスサーモン料理を提供	「高森町商工会名物料理研究委員会」のメンバーが活動を通じて、アルブスサーモンの提供はもちろん、加工研究やご当地の名物として観光業ともつながった活動への展開を継続していく。	高森町の名物の一つとして売り出している「アルブスサーモン」を味わってほしいと、町商工会名物料理研究委員会は25日、同町山吹の障害者支援施設「高森荘」に調理した約50食分を差し入れた。感染症を戒めて外出の少ない入所者にとって、飲食店のプロの料理を食べられる貴重な機会。施設側は「気にかけてくれてうれしい」と笑顔で受け取った。 アルブスサーモンは、飯田市の業者が養殖するニジマスの品種。高森町のご当地丼に使われ親しまれている。同委員会は、アルブスサーモンを扱う町内外の飲食店で構成。この日は西京焼きと、そぼろ状にした身を包んだ卵焼きの2種類を差し入れた。 同委員会は来春、卒業を前にした高森中学校3年生の給食にもアルブスサーモンを提供する予定。米山賢二会長(58)は「市田柿の他にも高森の名物があるとPRしたい。みんなに楽しんでもらえればうれしい」と話していた。(信濃毎日新聞より)	6	111,000		○	5	適正
						2000	99,000	12,000						
みんなで協働型	一次	14	出原アジサイの会	宮下 琢己	地域の環境・森林整備及び観光資源造成事業	5月 区民と共にアジサイの植樹・園内のアジサイに施肥 アジサイ園の下草刈、幼苗の移植 6月 区民と共にアジサイの挿し木(苗作り) 6月〜12月まで 定期的にアジサイ園の整備を実施、並びにアジサイ園活動先進地の視察(岐阜県) 12月〜令和7年3月 アジサイ園整備と今後のプランニング	若い世代の加入と中高生の(中学校の地域応援の申請)加入を促進したい。ヤマアジサイの立ち枯れが目立っている。(近年、特に目立つ)そのため、昨年度できなかった先進地(岐阜県)視察を通して園環境のあり方を研究したい。 新しい品種の苗購入に対しての研究を進めたい。	・今年度も区民並びに児童・保護者を交えてのアジサイ園整備作業等はできなかった。しかし、会員が参加しての整備や挿し木による苗作りは、これまでにとおり実施することができた。(別紙、写真資料参照) ・ある程度生育した苗を植するため苗床を作ったが、水分等が少なく、また雑草等の影響から想定していた苗づくりができなかった。新しい苗の購入も視野に入れながら進めたい。 ・新しい会員の確保、栽培活動に対する団結力を高めるために簡単なユニフォーム(ロゴ入りTシャツ)を作成した。今後、活用を考えていきたい。	14	128,000		○	6	適正
						2000	100,000	28,000						

みんなで協働型	一次	15	地域応援隊	宮島 千年	町内の新しいコミュニティの創造と地域支援事業	5月一総会と活動内容の検討及び草刈り等支援計画の立案 6月～支援要望等の受付 6月～翌年2月 支援活動 2月一総括総会と次年度に向けての方向づくり	本年度は、支援活動を進めながらこれまでできなかった課題に向けて少しずつ検討を進める。 特に町内（出原地区外）にも活動を広げながら、支部的な組織や農地管理班、家庭支援班等、支援内容に合わせた組織作りの再編を考えたい。それを実現するために今後、若手・女性隊員の加入を進めたい。（相互扶助の地域実現へ）	(1)新型コロナの影響もあって、一昨年度から農地再生や農地維持管理等の依頼が知った。しかし、「集まれる時、集まれる人が作業に参加する」、「無理をしない」等の考え方を踏襲しつつ実施することができた。年間を通した農地管理依頼が増えていく。 (2) 昨年から若手会員が更に増えた。幅広い年齢層（83歳～30数歳）の構成で「流汗快歌」を進めることで、テーマを中心とした新しいコミュニティづくりの形を模索したい。また、新たな会員加入を進めつつ、運動して自治会加入への働きかけも考えたい。（若者の、地方自治への関心離れを防ぎたい）	15	130,000		6	適正
						2000	100,000	30,000					
みんなで協働型	一次	16	下市田学校応援隊	吉田 正治	明治の建物下市田学校を令和に活かす	子どもたちが夏休みに入った7月下旬の1泊2日が第一弾。 10月下旬の市田柿の収穫に取り掛かる前に第三弾を実施する。 そのためにこれから活動を支える応援隊員を広く募集して、より地域に密着した取り組みをしていきたいと考えている。若い人たちにこの活動が継続していけるよう呼びかけ、加入につなげていきたい。	明治の校舎下市田学校で行うことのできる可能性にこれからは果敢に挑戦していきたい。さらに県内にある他の明治の学校との連携を図って『明治の学校サミット』等を行うことも考えていきたい。 そのためにこれから活動を支える応援隊員を広く募集して、より地域に密着した取り組みをしていきたいと考えている。若い人たちにこの活動が継続していけるよう呼びかけ、加入につなげていきたい。	明治の校舎下市田学校で行うことのできる可能性にこれからは果敢に挑戦していきたい。さらに県内にある他の明治の学校との連携を図って『明治の学校サミット』等を行うことも考えていきたい。 そのためにこれから活動を支える応援隊員を広く募集して、より地域に密着した取り組みをしていきたいと考えている。若い人たちにこの活動が継続していけるよう呼びかけ、加入につなげていきたい。	20	140,000		6	適正
						2000	100,000	40,000					
みんなで協働型	一次	17	上平BASE	龍口 靖彦	地域の活性化事業	① 月1回のミーティング（座談会あるいはオンライン） ② 地域住民へのアンケート調査・集計（5～6月） ③ スケジュール ④ 先進地域への視察研修（年1～2回） ⑤ 上平BASE主催のイベント開催（年1～2回） ⑥ 天伯峡ほたる祭りや高森ふさと祭りへの参加	イベント活動をアピールすることで上平地区以外の方にも周知していただき、いずれ高森町内にも事業を展開出来るような企画・活動を目指します。	今年度からの事業。	15	130,000		1	適正
						2000	100,000	30,000					
みんなで協働型	一次	18	柿の里SC	宮島 宏行	地域住民の健康増進と教養を身に着ける事業	7/14 クップみな信州 9月 モルック大会（共催） 10/26 まるごと収穫祭 11/3 柿の里ウォーキング 等	多世代交流のできる行事を企画し、一緒に運営・活動する人材も募っていく。	10/21 まるごと収穫祭のニュースポーツ体験ブースを開設することで、大勢の住民の方々に体験をしていただき、楽しんでいただけた。 11/3 柿の里ウォーキングにも顔見知りの方や初参加の方もいらして天気も良く、一貫水路の学習もでき、スタッフ参加者ともに楽しめて、交流も深められてよかったです。	12	124,000		6	適正
						2000	100,000	24,000					
みんなで協働型	一次	19	牛牧クリーンクラスタ	本島 忠	地域の環境保全・美化推進事業	・4月に総会を開催し、今年度の事業計画を策定する。 ・6月と9月に地域内の中央道沿線の草刈りを実施する。 ・5月と8月に高速道路フェンスに巻き付く、小木に除草剤を散布する。 ・10月から12月に事業の検証を行うとともに、会員相互の親睦を深めるため、懇親会を実施する。	集会、常会において事業の趣旨を説明し、賛同する多くの区民を募り、持続可能な団体として活動できるよう考えて行く。	地域の40代～70代の有志21名が草刈り部隊を編成し、区内中央道沿線町道脇約2.8kmについて刈払機やハンマーモアを使用して除草作業を実施し、地域の景観保全と車両通行上の視界の確保を図ることができた。（2回実施） また、作業終了後に弁当を囲み昼食会を開催し、会員相互の親睦を深めることができた。（1回実施）	22	144,000		5	適正
						2000	100,000	44,000					
みんなで協働型	一次	20	牛牧史学会	林 治巳	牛牧地区内の文化財標柱等の美化保全事業	・6月と9月の2回、2時間程度の草刈を実施する。 ・月に一回、標柱及び周辺の点検を行う。	会員の高齢化が進んできているが、機会あることに若い人にも声を掛け、活動に賛同してくれる仲間を募り、できる限り継続していきたい。	新型コロナウイルス感染症も収束しつつある中、6月と9月を主に補助事業に取り組みました。どちらも会員の半数以上の方が参加していただき、会員の意識の高さを感じました。 また、文化財近くの方々が自主的に草刈りを行ってくださり、史跡の美化・保全を図ることが出来ました。 今後も定期的に史跡周りの確認を行い、文化財の保全に努めたいと思います。	25	141,000		6	適正
						2000	91,000	50,000					

みんな で 協働型	一次	21	高森文化ユニット	唐木 渉	柿の里詩歌フォーラム 2024	5月9日：従来の短歌フォーラムからの意見交換・集約。 以後打ち合わせ会随時。 9月25日～11月「八十二銀行市田支店ロビー展」にて広報活動を実施。他PR活動随時。 7月～11月：小中学生、創作協力。 12月1日「市田柿の日」表彰式、シンポジウム	町内にある文芸碑から地域文化再認識、町の魅力として、子供たちの地域学習や感性の育成に寄与。	R5年度は実績なし。	25	250,000		○	7	適正
						2000	200,000	50,000						
みんな で 協働型	一次	22	Neechu Ring	上澤 しのぶ	学びと青リンゴを核にした地域活性化・人材育成事業	① 青リンゴプロジェクト 園場整備を行う。2023年度に改修を行った面場の育成、草刈りや防除などの維持管理を行いながら、栽培に欠かせない棚を整備する。支柱等は協賛者からの提供品をリサイクルし、設置のみを補助事業で行う。 ② セミナーイベント「授業」 古代の道「東山道」に注目し、それに伴う地域資源の再発見、さらに SNS を使用した新たな健康へのプロジェクト、さらに最新のIT技術に関わるセミナーなど、柔軟に計画を立て、事業期間内に最低4回開催する。 ③ 情報発信 既に開設済みのWebページやFacebook等のSNSを活用し、上記①、②のイベントの情報発信や、仲間の募集、他地域との交流などを随時行う。	【全体】 「学友」の団体として、熱中小学校で学んだことを基盤に参加者が「やってみたい」ことを実現できるよう協力して活動する。学びと実践の両輪でプロジェクトと参加者を増やし、他の地域団体とも連携を目指し取り組む。 ① 青リンゴプロジェクト 既存園場を完全に採し、青リンゴの苗を新植し、焼化栽培の技術を取り入れ初期園場整備を行った後は、持続的な整備育成で、2028年ごろから本格収穫を目指す。同時に、青リンゴを活用した加工食品の開発や加工販売で地域の新たな6次産業の基盤になることを目指す。ブランディングなどにも取り組みながら、栽培しやすい加工用青リンゴの特製を生かし、耕作困難な園場の活用で有休地の拡大を防止し、仲間を増やせるように活動を展開していく。 ② セミナーイベント「授業」 時々のニーズや話題に合わせたセミナーイベントを開催していく。地域で活躍しているキーマンにご登壇いただき、「学友」と言う共通点で人と人をつなぎ「やってみたいこと」を広げる基盤となる。 ③ 情報発信 上記①、②のイベントの情報発信や、仲間の募集などを行う。また、情報発信を通して得られた、情報発信そのもののノウハウも蓄積し公開することで、活動の発信を目指すほかの地域振興団体などと共働を目指す。	① 青りんごプロジェクト 園場整備と維持を行った。延べ約70名以上の参加者と共に実施し計60本を植えた。 「加工用青りんご」の栽培技術の習得と啓蒙、町の活性化企業人制度によるイベントに参加し、専門家との繋がり・アドバイスをもらえるなどの成果を得た。 ② セミナーイベント「授業」 計画を上回る12回の「授業」「社会見学」等を実施した。延べ約180名の参加者を集めた。最新のIT技術などを共に教え合い、また地域資源といえる「東山道」に着目し活動を深めるなど成果を得た。 ③情報発信 WebページやSNSを通じて情報発信と仲間の募集を行った。他地域で学びから地域おこしを行う団体とSNSを通じて交流し、実際に現地で交流するなどの成果を得た。	28	150,000			2	適正
						2000	94,000	56,000						
まちと共創型	一次	23	山吹ほたるの里コミュニティスクール	辰野 有紀	特色ある学校づくり推進事業	・5月～10月：クラブ活動 ・9月14日：ふれあい参観日 ・随時：学習支援等	ボランティアをはじめとする協力者を増やし、できる限り長く継続していきたい。	今年度は、昨年度の高森北小学校創立150周年事業で多くの方々に学校の関心をもっていただけたことを出発点として、それぞれの学年で、子ども達が自ら学んだことを地域に発信したり、地域の方々よりつながりを深めたりする活動を行うことができた。また、コロナ禍で久しぶりの開催となったふれあい参観日では、親子や家族と一緒に体験する良さを味わうことができた。どの活動においても、講師やボランティアの方々が気持ちよく引き受けて子ども達のために取り組んでくださり、子ども達の主体的に取り組む意欲を伸ばすことができた。	25	150,000			5	適正
						2000	100,000	50,000						
まちと共創型	一次	24	丸山あったか育みプロジェクト	湯沢 正農夫	丸山あったか育み事業	畑の作業・収穫・賞味、丸山公園の花壇づくり 4～3月あったかからすと連携したイベント、収穫祭などの開催 随時	賑わいのある公園づくりを町と連携し継続していきたい。	1. あったかからす周辺など草刈り、丸山公園内花壇に花の苗を植える 2. あったか農園にて親子参加のじゃがいもやさつまいも植付～収穫～焼き芋大会を開催する あったかからすの親子に参加してもらい、親子で収穫の喜びを体験し、味わいを楽しんでもらう機会を設けることができた。町と地域が共創し、公園一帯を使った子育て支援を行うことができた。	11	122,000			6	適正
						2,000	100,000	22,000						

まちと共創型	一次	25	伝えたい思い アサギリにたくして	山内 智子	次世代へ！平和をつなぐ事業	・被爆アオギリ 2世から3世を育てる事を継続する。苗木が育ち構成員宅などで順調に育っている。高森町で育った「被爆アオギリ 3世」として、町内外に配布を行い、平和を築いでいく。 ・春の種まき、秋の種ひろい ・8月6日に「平和をつなぐつどい」の開催 ・フェイスブックやホームページで情報発信し、ミュージアの里などとの繋がりを深め平和交流を広げていく。 ・紙芝居を使い、平和バス学習会や小中学校の平和学習会へ参加 ・丸山公園へアオギリ3世の植掛（6月頃） ・機関紙の発刊（第4号） ・平和の鐘台座設置に向けた検討	町内外へのアオギリ苗木配布や、学習会などを通じ、交流する中で平和を考え、仲間を増やす事を継続していく。 次世代への平和意識向上を図るため、主に小中学生に向けて会の活動をお知らせし、事業への参加を促していく。	・「平和をつなぐつどい」の実施、丸山公園平和の丘令和5年8月6日黙とう、平和交流会（歌、楽器演奏等）、被爆アオギリ 3世の里親募集 - 平和をつなぐつどいチラシ作製と配布 ・アオギリ通（平和啓蒙新聞）作成と配布、年1回（第3号） ・アオギリの種採取、丸山公園平和の丘、令和5年10月28日アオギリ種採取のチラシ作製と配布 ・アオギリ苗の植替え、高森町中央公民館令和6年3月24日 ・打合せ会議 4/20、6/8、7/18、12/10、1/28、3/24 計6回 ●平和をつなぐつどいにはおよそ 30 人に参加いただき、つどいに参加いただいたお子さんに種拾いや種まきへの案内も行って参加いただいた。今年度はアオギリに関する紙芝居の製作にも着手し、来年度に完成予定。今後は紙芝居も教材に、小中学生や町の平和事業での平和学習に参画していきたいと考えている。	24	148,000		5	適正
						2000	100,000	48,000					
まちと共創型	一次	26	柿の里コミュニティスクール	田本 けい子	地域とともにある学校づくり	学年の活動に応じて	町で整備していただいたボランティア名簿を活用しながら、地域に関わる活動をさらに展開していきたい。	学校教育目標「より強く、より豊かに生きる市田のこども」に向け、ふるさと高森で学ぶ場として、地域を題材にした体験学習を行っている。その際に、地域の方を講師として招いて教えていただいたり、地域の方、施設の方との交流を行ったり、ご指導をいただいたりする中でふるさととのひと、もの、ことの良さにふれ、ふるさと高森町を愛する心を育むことを目的とする。	25	150,000		7	適正
								2000	100,000	50,000			
地区主体型	一次	27	下市田一区自治会	佐々木 順一	地域内の子どもの交流を手段として自治組織加入促進事業	4月から5月 企画検討・栽培用畑確保し植え付け準備 6月から11月 さつまいもの植付・管理・収穫・焼き芋体験 6月 子供だけでカレーライスを作るイベント実施 1月から3月 次年度作付け計画と準備	カレー材料の植付は、玉ねぎは10月、ジャガイモは4月、人参は3月と1年を通じ栽培体験ができるので、改年度も継続して事業を実施	今年度からの事業。		100,000		1	適正
							100,000						
地区主体型	一次	28	下市田区運営委員会	北沢 文治	自治会運営の維持と組織インフラなどの改良強化をする事業	毎月の例会活動または企画会議、他小委員会をおこなう 1-4について優先順位で順次検討 4-12月 6回 7. 先進自治会等の研修 7-9月 2-3回 5. 6. 8. 9について必用に応じて順次 4-3月 6回程度 まとめ総括 3月 いずれも町の支援を得る。	テーマ課題については区の運営の重要事項であり多にわたるので、区民の意向を確認しながら、必要な協力者を要請して分科会小委員会や視察交流など柔軟に対応検討する。代議員会の決議を経て迅速に実施する。 （重点事業に該当する理由） 1. 自治会加入者の増加があり、権利義務の在り方、負担受益の在り方、常会等の在り方再編、区委員会等の組織再編などが急務 2. 自治会が現状形態の延長か、新しい形態への移行か 3. 収支が厳しく、支出の改善が必要 4. リニア時代の基幹となるインフラの変更整備 いずれも自治会運営の最重要事項である	今年度からの事業。		185,000	○	1	適正
							185,000						
みんなで経営型	一次	29	信州・高森パノラマビレッジ	清水 誠	パノラマ農園の資源を活かした地域の元気づくり	5月 りんごの木オーナー募集、作業体験開始（通年） 広場イベント、料理・手仕事教室の企画、関係者調整 6月 7～9月 ブルーベリー摘み体験、首都圏での産直販売 ※9～11月農産物の首都圏での産直販売 10月 りんごの収穫体験 11月 干し柿づくり体験、柿すだれづくり ※4～11月 その他イベント 通年 ホームページ運営管理、SNS情報発信、広報	・今後もNP0の形態か、または収益を上げながら自主事業として運営していくことで、この交流事業を継続していけるようにと考えています。 ・今後はパノラマビレッジに限らず、周辺地域に広げた体験プログラムの開発、魅力発信を行い、農家、地域住民、地域外からの来訪者との交流促進、継続する仕組みづくりを行っています。	・シナゴールドのオーナー制を実施（10組）。農作業体験と地元の食事を提供する交流企画も好評で、来年度への継続参加につながった。また採算面でも継続できる自遊がたった。宿泊連携は50名余の成果を得られた。 ・東京、神奈川、広島のマルシェへ出品し、高森町とパノラマビレッジのPを実施した。収穫体験もプログラム化し受入れを実施した。 ・商品の直送は、参画農家が増え品目・発送回数ともに増やすことができた。 - お客様として東京や広島のレストランやワイナリーへの販路を開拓できた。 ・アグリ交流センター前の芝生広場が整備され、オープンカフェを実施した。 ・高森町と東京の二地域居住をする仲間が運営メンバーに加わり、来年度以降の自立を見据えた事業について様々なトライができた。		500,000		5	適正
							500,000						

申請額合計 4,502,000 円